

エアーリベッター

取扱説明書 吸引排出装置付

日本語/JAPANESE

ARV-025M

目次

はじめに	1
安全上のご注意	2
各部の名称	5
仕様	6
ご使用前の準備	7
作業手順	9
保守点検のポイント	10
保管の仕方	15
部品の注文方法	15
部品表	16
故障かな?と思ったら	20

本機はプロ用ブラインドリベット専用工具です。

このたびは、エビ印エアーリベッターをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

ご使用に際し本説明書を必ずよくお読みいただき、正しくご使用ください。

お読みになった後も大切に保管してください。

この取扱説明書は、Original instructions（原本）です。

株式会社 ロブテックス

コールセンター TEL (072) 980-1111 FAX (072) 980-1166

〒579-8053 大阪府東大阪市四条町 12-8

ホームページ <https://www.lobtex.co.jp/>

No.RV025MS90106

●はじめに

このたびは、エビ印エアリーリベッター（以降、本機と省略します）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- ・本機は、エビ印ブラインドリベットをかしめ締結させるためのブラインドリベット専用工具です。他の用途を意図した設計・製造・販売はいたしておりません。
- ・この取扱説明書（以降、本書と省略します）には本機を安全に、しかも効率よくお使いいただくための正しい操作方法や保守点検の方法、及び製品情報を記載しています。
- ・お使いになるリベットの仕様や強度は、お客様において十分設計検討されたリベットをご使用ください。

1 重要なお知らせ

- ・本機を取り扱う前に、必ず本書をよくお読みください。また、本機の手取り扱ひや付属品の交換、及び部品交換は本書の記載内容に従ってください。
- ・本書の内容につきまして、ご不明な点やご質問がありましたら、お買い求めの販売店、又は当社コールセンターにお問い合わせください。
- ・本機に混在する危険の全てを予測し、本書に記載することはできません。本機を取り扱うときは、本書に記載されていることだけでなく、安全対策に関して十分配慮してください。
- ・本書は、日本語を原語として作成しています。お客様の責任において本書の内容を十分に理解してください。
- ・本書の著作権は「株式会社 ロブテックス」が所有します。本書の内容を無断で公開・複写・複製、又は別の言語に翻訳することは禁じられています。

2 免責について

- ・本機の誤用・乱用・無断改造等が原因で発生した直接、又は間接の傷害や損失利益の補償及びリベットの強度等リベット自身に関する保証はいたしません。
- ・当社には、当社の文書による承認のない改造により発生した一切の損害、又は障害に対して何らの責任はないものとします。
- ・当社には、推奨部品以外の部品の使用により発生した一切の損害、又は障害に対して何らの責任はないものとします。

●安全上のご注意



◆ご使用前に、この「安全上のご注意」全てをよくお読みのうえ、十分理解したうえで正しく安全に使用してください。



◆本機をご使用中は、必ず保護めがねを着用してください。切断されたりベットのマンドレルが飛び出し傷害を及ぼすおそれがあります。

◆ここに示した注意事項は **△警告** と **△注意** に分けしていますが、それぞれの意味は下記のとおりです。

△警告：誤った取り扱いをした場合、使用者が死亡、又は重傷を負う可能性が想定される内容のご注意

△注意：誤った取り扱いをした場合、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、及び物的損害のみの発生が想定される内容のご注意

なお、**△注意** に記載した事項でも重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

◆お読みになった後は、お使いになる方がいつでもご覧になれる所に必ず保管してください。

△警告

1. 使用空気圧0.5～0.6MPaを守ってください。
 - ・使用空気圧を超えて使用しますと、本機が破損して傷害や損傷を及ぼすおそれがあります。
2. 本機の先端（ノズピース部）を絶対にのぞかないでください。また、人に向けて作動させないでください。
 - ・切断されたりベットのマンドレルが排出されずに内部に残ったまま作業を行いますと、本機の先端（ノズピース部）からマンドレルが飛び出し傷害を及ぼすおそれがあります。
3. シュートホースの末端（切断されたりベットのマンドレルの排出口）を絶対に人へ向けないように保持してください。
 - ・シュートホースの末端から切断したりベットのマンドレルが飛び出し傷害を及ぼすおそれがあります。
4. 必ずシュートホースを取り付けてご使用ください。また、使用中は必ず保護めがね・保護具を着用してください。
 - ・切断されたりベットのマンドレルが飛び出し、事故や傷害（失明など）を負うおそれがあります。
 - ・シュートホースはシュートホース取付け部（ノズルユニット）に奥まで確実に差し込んでください。使用中にシュートホースが外れて障害を及ぼすおそれがあります。
5. 本機とエアースourceとの接続は確実に行ってください。
 - ・ジョイントのねじが合わなかったり、ねじの入りしろが不十分であった場合、使用中にエアースourceが外れて傷害を及ぼすおそれがあります。
 - ・エアースourceジョイントとエアースourceの接続はホースバンドを用いて確実に行ってください。接続が不十分ですと使用中にエアースourceが外れて傷害を及ぼすおそれがあります。
6. 本機をエアースourceから外すときは、エアースourceの供給を止めてください。
 - ・圧縮空気によりエアースourceが跳ねたりして傷害を及ぼすおそれがあります。
7. ご使用前に各部の損傷がないか確認し、損傷がある場合は、使用せずに修理に出してください。
 - ・損傷がありながら使用しますと傷害を及ぼすおそれがあります。
 - ・物を落とすなどして本体に傷等が生じると、その部分が破損して事故や傷害を及ぼすおそれがあります。
 - ・エアースourceを持って本機を引きずるなどしますと、本体に傷が生じたり、ロータリージョイントが破損したり、その他作動不具合が生じたりして、事故や傷害を及ぼすおそれがあります。
8. 高所作業の際は、ご自身に安全ベルトをして本機やリベットの落下にも注意してください。
 - ・これらを怠りますと事故や傷害を及ぼすおそれがあります。

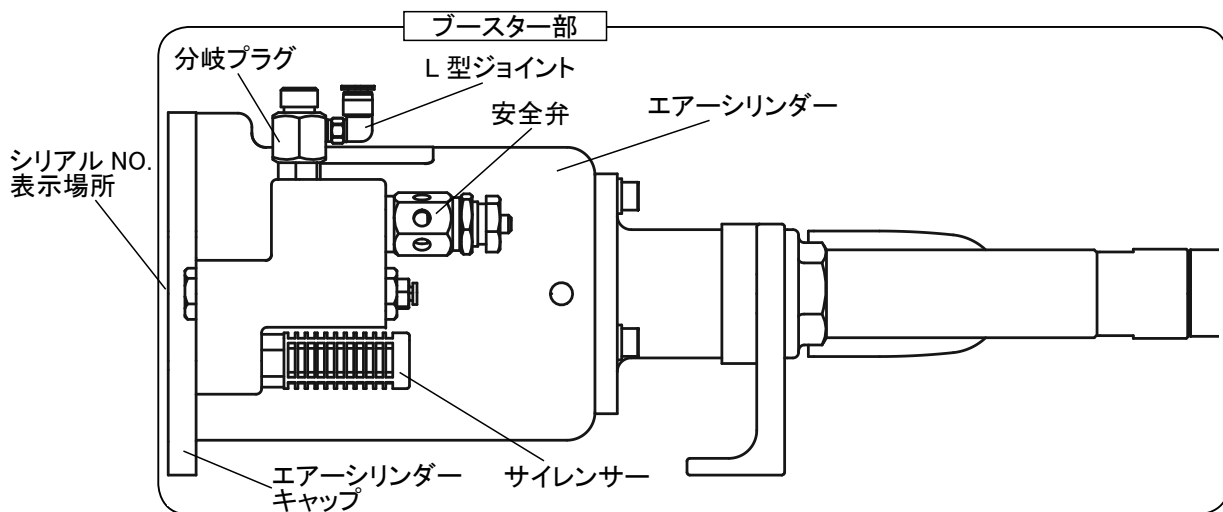
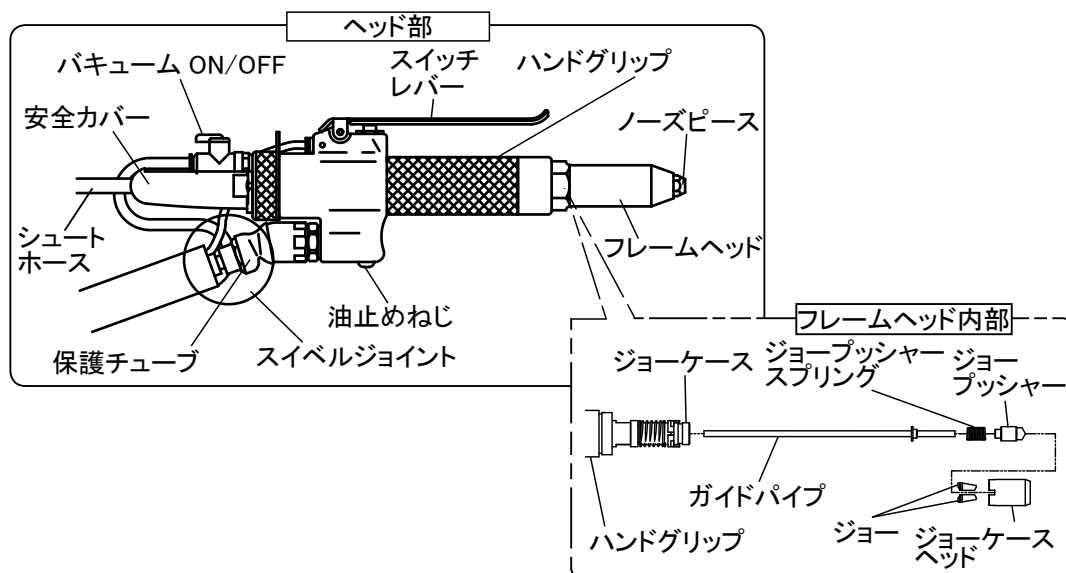
注意

1. 本機のお手入れ、部品交換等の分解時には必ずエアーの供給を止めてください。
 - ・エアーが供給された状態で手入れや分解を行うと、部品の飛び出し、オイルの噴き出し、予期せぬ動きなどにより、事故や傷害を負うおそれがあります。
2. 油止めねじをしっかりと締め付けた状態でご使用ください。
 - ・油止めねじが緩んでいたり、外れた状態で使用すると、オイルが噴き出し、事故や傷害を負うおそれがあります。
3. フレームヘッドを外した状態で本機を操作しないでください。
 - ・指や手を挟むなど、傷害を負うおそれがあります。
4. エアー排出口に顔などを近づけないでください。
 - ・エアー排出口から油分等が飛散して目などに入るおそれがあります。
5. 油圧オイル・潤滑オイル・グリス等の油類はできるだけ皮膚などに触れないようにしてください。
 - ・皮膚などに炎症をひき起こすおそれがありますので、触れた場合は身体から完全に洗い落としてください。
6. 当社より供給された部品、又は推奨された部品のみをご使用ください。また、お使いになるリベットに適合した部品を取り付けてご使用ください。
 - ・十分な性能が発揮できないだけでなく、異常動作などにより、事故や傷害を負うおそれがあります。
7. 整理・整頓・清掃された場所でお使いください。
 - ・散らかった場所での作業は事故や傷害を負うおそれがあります。
 - ・切断後のマンドレルが床等に散乱すると、足を滑らせて傷害を負うおそれがあります。
8. 無理な姿勢で作業しないでください。
 - ・転倒等、傷害を負うおそれがあります。
9. 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
 - ・事故や傷害を負うおそれがあります。
10. 本機の手入れは注意深く行ってください。
 - ・付属品の交換や部品交換は取扱説明書に従ってください。傷害を負うおそれがあります。
11. 握り部は常に乾いたきれいな状態に保ち、オイルやグリスがつかないようにしてください。
 - ・手が滑り、本機を落とすおそれがあります。
12. 破断したリベットを床に散らかさないでください。
 - ・破断したリベットは先がとがっているため危険です。また、上に乗った場合滑りやすく転倒のおそれがあります。
13. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・本機を使用する場合は取扱方法・作業方法、周囲の状況等十分注意して慎重に作業してください。軽率な行動をすると、事故や傷害を負うおそれがあります。
 - ・常識を働かせてください。非常識な行動をとると事故や傷害を負うおそれがあります。
 - ・疲れている場合は使用しないでください。事故や傷害を負うおそれがあります。
14. 本機の修理は当社にお申し付けください。
 - ・修理は必ずお買い求めの販売店、又は当社にお出してください。修理の知識や技術のない方が修理されますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故や傷害を負うおそれがあります。
15. 本機の改造をしないでください。
 - ・異常動作等、事故や傷害を負うおそれがあります。
16. 工具、包装材等を廃棄する際は、国、各自治体の条例等、廃棄物に関する法、規則に従い処理してください。
17. 油圧ホース端のスイベル機構部分にあるゴム製マジックチューブを取り外さないでください。
 - ・指や手を挟むなど、傷害を負うおそれがあります。
18. 油圧ホースの保護チューブを外さないでください。また、保護チューブに損傷がある場合は直ちに使用を中止し、交換又は修理をしてください。
 - ・保護チューブは油圧ホースの保護と、油圧ホースが破損した場合の危険を防止します。これらが機能しないと事故や傷害を負うおそれがあります。

注意

19. この製品の製造年月は、エアシリンダーキャップ底面に略号で示しています。(P.6 参照)
20. 本体ラベルには、使用に関しての重要な情報や手掛かりが記載されています。ラベルの汚れや破損により内容が読み取れない場合は、新しいラベルを取り寄せてはり替えてください。
新しいラベルは、販売店を通じて当社（株）ロブテックスより取り寄せることができます。
21. 本製品は、プロ用専用工具です。初めて使用される方は、既に使用されている経験者より取り扱いに関する教育を受け、また、取扱説明書の内容を十分に理解したうえでご使用ください。
 - ・ 本製品を使用するときは、保護メガネを着用してください。
 - ・ 本製品が破損している場合は、本機を操作しないでください。
22. 本体の保守においては、ファスナーの施工本数30,000個ごと、又は1年ごとに本体内部（シリンダー、スプール部等）の清掃と作動油を新しいオイルに交換してください。
23. よく訓練された適任と認められた者だけが、本製品を使用・整備してください。
24. 本製品を改造しないでください。改造をすると安全装置の有効性が損なわれ、操作者に対するリスクが高まります。
25. 足を滑らせること、転倒、落下は作業場でのけがの主な原因です。製品のご使用により床面が滑りやすくなったり、エアホースや油圧ホースにつまづいて転倒したりする危険がありますのでご注意ください。
26. 不慣れな環境下では十分注意して作業に取りかかってください。電線又はその他のケーブル等が隠れていることがあります。
27. 本製品は、爆発の可能性がある状況下での使用を想定したものではありません。
また、本製品は絶縁されていません。
28. 電線・ガス管等がないことをご確認ください。本製品のご使用によりそれらを傷つけるおそれがあります。
29. 手や指にしびれ、うずき、痛み肌の白化作用等の症状が現れた際には、本製品の使用をやめ雇用者に報告して医師に相談してください。
30. 圧縮空気はときとして深刻な被害をもたらす事があります。
 - ・ 使用しないとき、製品を交換したり修理する前には工具をエア供給源から外しておいてください。
 - ・ 絶対に自分や他の人にエアを向けないでください。
31. ホースがムチのように動くとき深刻な被害をもたらす危険性があります。
常にホースが損傷していないか、接続部に緩みがないかを確認してください。
32. ホースを持ってエア工具を運ばないでください。
33. 日常的な保守点検については、例えば特定の作業の直後に実施、特定の周期又は操作回数によって実施、もしくは年に定められた回数実施してください。
34. オイルやグリス等を取り扱うときは、使用するオイルやグリス等の化学物質等安全データシート（SDS）をこれらの供給者から入手し、記載内容に従ってください。
35. 安全弁を絶対に取り外したり分解しないでください。安全弁は特に重要な安全装置です。
もし誤って緩めたり、破損した場合はお買い求めの販売店又は当社コールセンターまでお問い合わせください。
36. 安全弁が作動したままの状態で使用しないでください。
37. エア調整を行っても、安全弁が作動するときは直ちに本機の使用を止め、当社コールセンターまでお問い合わせください。

●各部の名称



●仕様

品番	ARV-025M	
重量 kg	ヘッド部	0.9
	総重量	4.6
使用空気圧 MPa	0.5~0.6	
大きさ 長さ×高さ×厚み mm (ヘッド部)	310×80×39	
1分間当たりの空気使用量 L/min (空気圧0.5MPa時) ※①	100	
工具ストローク mm	19	
工具引張力 KN 空気圧0.5MPa時	8.8	
リベット使用範囲(リベット径) φmm	2.4・3.2・4.0・4.8	
動作環境	周囲温度 °C	4~35
	湿度 %RH max	80 (結露無きこと) 以下
騒音 dB ※②	75.3	
振動値 m/sec ² 空気圧0.6MPa時	2.5以下	
エアー取り入れ口	ニップルねじサイズG1/4	

※製品の仕様、デザインは予告なく変更することがあります。

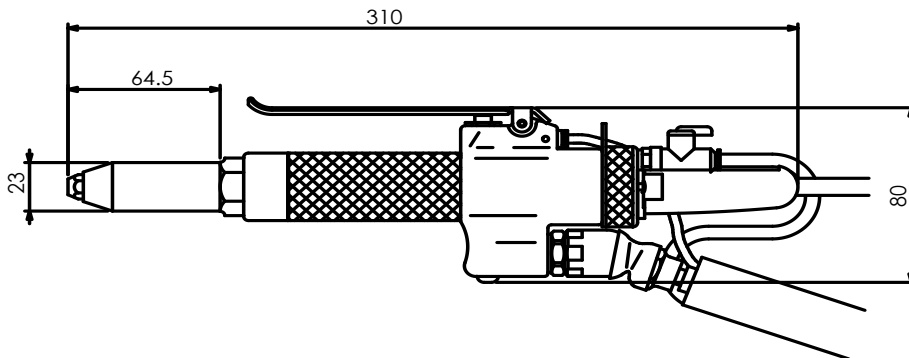
※大きさ、重量等は標準値ですので多少の数値の上下があります。

※定格銘板の配置場所(注意: 警告銘板取り付け位置)は、エアーシリンダー側面にあります。

※シリアル No. は本体エアーシリンダーキャップ底面に略号と4ケタの数字で表示されています。

※① 30本/minとして。

※② 等価騒音測定レベルでの測定。



製造年度の見方

製造年月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
略号	A	B	M	N	K	W	T	Y	U	O	L	Z

例) 201④年 ⑧月→N Y O O O O

↓ ↓
N Y

取扱説明書改訂履歴
品名: エアーリベッター
型式: ARV-025M
第7版発行年月日 2021年4月

●ご使用前の準備

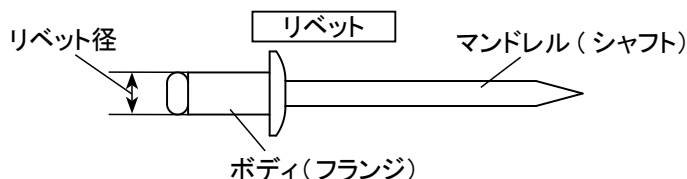
- 1** ご使用のリベットサイズに合わせてノーズピースとガイドパイプを交換します。(P.10 参照)
※ご購入時、ノーズピースはφ 3.2、ガイドパイプは黄色がセットされています。

リベットサイズ (リベット径)	ノーズピース 刻印	ガイドパイプ
Φ2.4	2.4	A (黄)
Φ3.2	3.2	
Φ4.0	4.0	B (白)
Φ4.8	4.8	

ノーズピース



サイズ表示の刻印

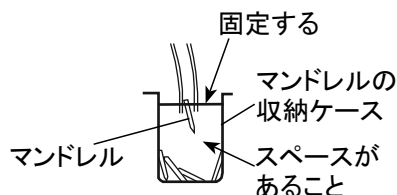


ガイドパイプ



色により区別
A: 黄色
B: 白色

- 2** シュートホースの末端をマンドレルの収納ケースに固定します。
使用中に収納ケースの固定箇所から外れないようにしっかりと保持します。
又、シュートホースの末端に障害物があると、切断後のリベットのマンドレルが排出できなかったり、排出力が低下しますので十分なスペースを取ってください。

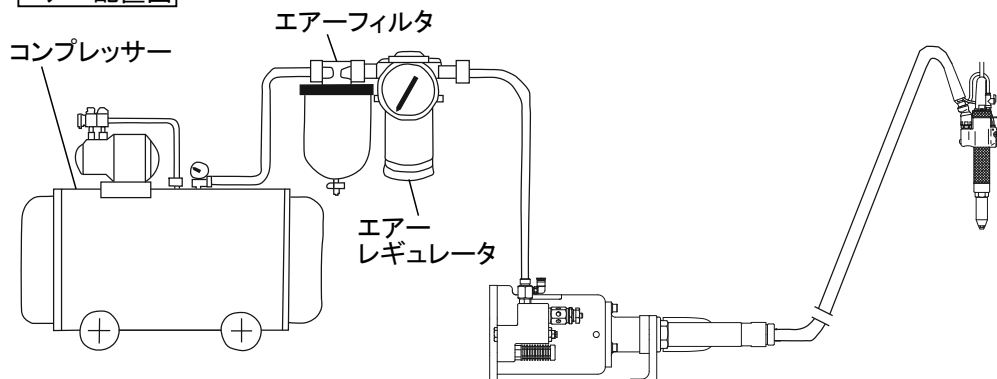


⚠警告3 (P.2)

※必ず収納ケースを準備し、マンドレルの飛散を防止してください。シュートホースの末端からは、マンドレルが飛散するため負傷の原因となります。

- 3** コンプレッサーを用意し、エアーリベッターとの間に必ずエアーフィルタ・エアーレギュレータを取り付けてください。

エアー配置図



4 空気圧を0.5～0.6MPaにセットします。

⚠ 警告1 (P.2)

※空気圧が高いと本機が損傷するおそれがあります。また、空気圧が低いとリベットが完全にかしまらない、あるいは切断できない場合があります。

5 本機が正しく作動することを確認します。 エアーを接続したら、2～3度カラ打ち（リベットを入れないで作動させる。） を行い、オイル漏れがなく円滑に作動していることを確認してください。

重要

長期間使用しなかった後、ご使用になる場合は特に念入りに保守点検を行ってください。
（「P.10 フレームヘッド・ジョーケース部の清掃」参照）保守点検後、バキューム機構を
作動させてからご使用ください。

6 安全弁について

本機にはエアーリッター本体へ適正値を超えたエアーが供給されたとき、エアーを噴き
出し作業者に異常を知らせる「安全弁」が装着されています。

適正空気圧 : 0.5～0.6MPa

安全弁作動圧力 : 0.64MPa

作動した場合の処置

(1) 直ちに本機の使用を中止し、エアーの供給を停止してください。

重要

エアーの供給を停止しないと安全弁はリセットされません。

(2) ご使用の空気圧を0.5～0.6MPaにセットしてください。

(3) 再度エアーを供給し安全弁が作動しないことを確認してください。

⚠ 注意 35 (P.4)

・安全弁を絶対に取り外したり分解しないでください。安全弁は特に重要な安全装置です。もし誤って緩めたり、破損した場合はお買い求めの販売店、又は当社コールセンターまでお問い合わせください。

⚠ 注意 36 (P.4)

・安全弁が作動したままの状態で使用しないでください。本機が損傷するおそれがあります。

⚠ 注意 37 (P.4)

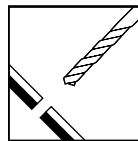
・エアー調整を行ったにも、関わらず安全弁が作動するときは直ちに本機の使用を止め、お買い求めの販売店、又は当社コールセンターまでお問い合わせください。

●作業手順

1 リベッティングする母材の厚さにあったサイズのリベットを選択します。

2 リベットサイズに合わせてノーズピースとガイドパイプを交換します。(P.7「ご使用前の準備」参照)

3 リベッティングする母材に正しい下穴(リベット径よりφ0.1~0.2mm大きく)を開けます。

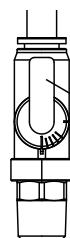


4 バキューム用エアーコックを反時計方向に回しバキューム装置を起動します。

バキューム装置がON状態になり、エアー音がします。

重要 エアーコックは中間位置で使わないでください。エアーコックは必ず、停止する位置まで回してご使用ください。

重要 (P.7「ご使用前の準備」を行ってからバキューム装置を起動してください。



エアーコック

バキュームONの状態
(エアー音がします)

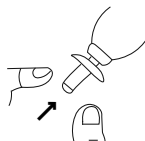


エアーコック

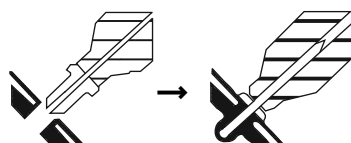
バキュームOFFの状態
(エアーが停止します)

5 リベットのマンドレルをリベッターのノーズピースに差し込みます。

重要 リベットは吸引保持されてどの方向に向けても落ちません。

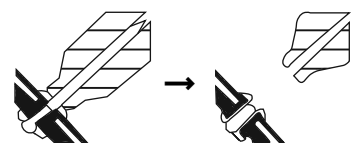


6 リベットのボディ(フランジ)を下穴に挿入します。



7 ボディ(フランジ)のツバを母材面に押しあて、スイッチレバーを握ります。

・マンドレルが切断されボディ(フランジ)が、かしまります。



8 スwitchレバーをはなすと、シュートホースから自動的にマンドレルが排出されます。

重要 以後のかしめ作業は、必ず切断したマンドレルの排出後に行ってください。



マンドレルの
収納ケース

マンドレル

●保守点検のポイント

リベッティングを長時間行くと、マンドレルの切粉やごみが各部に溜まりトラブルの原因となります。本書の記載内容に従って、定期的に掃除を行ってください。

△警告 各部の保守点検作業を行う前に、必ずコンプレッサーの電源をOFFにしてエアーの供給を停止させるとともに、エアー回路内の残圧を排除してください。負傷するおそれがあります。

△注意 ・各部の組立時、各摺動部には必ずグリス等の潤滑剤を塗布してください、動作不良の原因になります。
・部品は忘れずに組み込み、締結部は確実に締めてください。

1 フレームヘッド・ジョーケースヘッド部の掃除

切粉が詰まるとジョーの動作の円滑性が損なわれます、かしめ本数3000本に一度程度を目安に掃除してください。

重要

- ・ジョーは消耗品のため、定期的に交換する必要があります、本機は耐久性の高い超硬質ジョー（別売）を使用しております。交換時は「超硬質ジョー 中」とご指定ください。
- ・油止めねじを絶対に緩めたり外したりしないでください。油止めねじは組立時のエアー抜き用のものです。
- ・ジョーケース及びジョーケースロックナットを緩めたり取り外したりしないでください、ヘッド部からオイルが漏れて機能が低下します。ジョーケース及びジョーケースロックナットは、使用中に緩まないようにオイルピストンのねじ部に装着されています、もし使用中に緩みが生じたり、保守点検時に誤って緩めてしまった場合は修理を依頼してください。

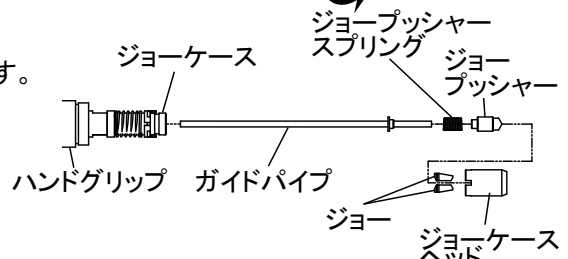
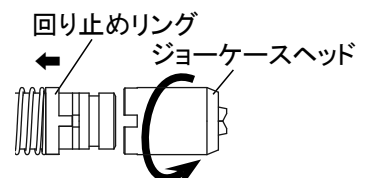
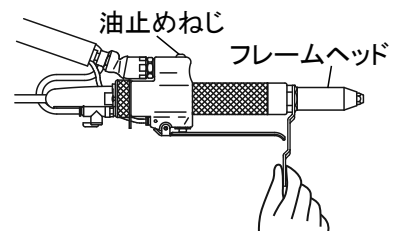
分解

1 エアーの供給を停止します。

2 付属のスパナ A でフレームヘッドを外します。

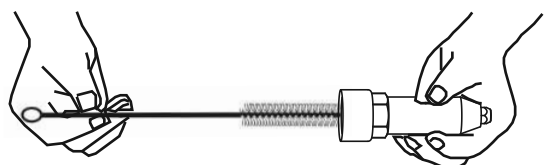
3 回り止めリングを図の方向へ引き、ジョーケースヘッドを緩めて外します。

4 ジョープッシャースプリング・ガイドパイプ、ジョープッシャー、及びジョーを取り外します。



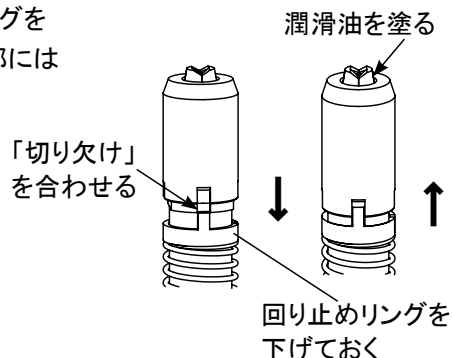
掃除

5 ブラシ等で各部品を掃除します。



組立

- 6** 分解の逆手順で組み立てます、ジョーケースヘッドは、ジョーケースヘッドをいっぱいまで締めて、そこから切り欠けのあう位置まで戻し、回り止めリングをセットしてください。組み立て時、ジョー背部にはエビ潤滑油（JO50別売）を塗布します。



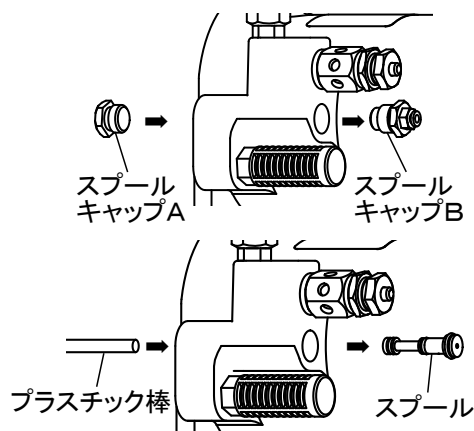
2

スプール部の掃除

スプール部にゴミが溜まるとスプールの動きが悪くなります、復帰が遅い等、動作不良と感じたときは、スプール部を清掃してください。

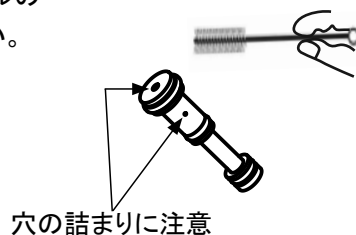
分解

- 1** エアーの供給を停止します。
- 2** スパナ等でスプールキャップA・Bを外します。
- 3** プラスチック等、傷のつかない棒を使用してスプールキャップA側よりスプールを突き上げ、取り外します。



掃除

- 4** ブラシ等で各部品を掃除します。このとき、スプールの小さな穴が詰まっていないことをよく点検してください。



組立

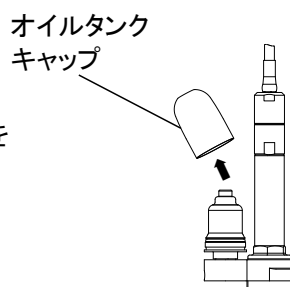
- 5** 分解の逆手順で組み立てます。組み立て時、スプールのOリングにはグリスを塗布します。

3 油圧オイルの点検

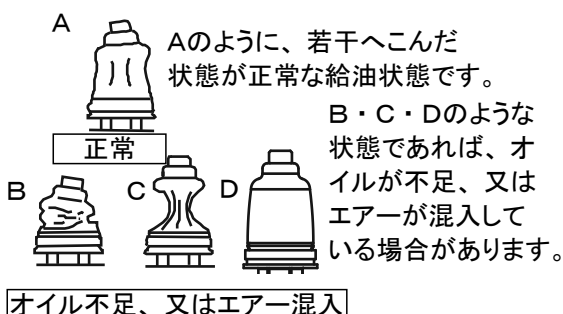
通常、リベットのかしめ作業は一度のスイッチレバー操作で完了しますが、油圧オイルが減少するとスイッチレバー操作が数回必要となってきます。この場合、油圧オイルの点検を行ってください。

1 エア어의供給を停止します。

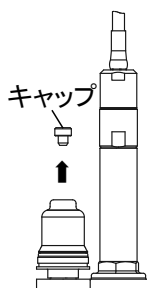
2 ブースターを立てた状態で、オイルタンクキャップを反時計方向に回し外します。



3 内部タンクの状態を目視で確認します。内部タンクがへこんだり、膨らんでいたら油圧オイルが不足、又はエア어가混入している場合があります。エア어抜き方法についてはお買い求めの販売店、又は当社コールセンターまでお問合せください。



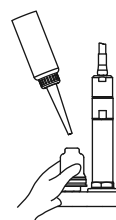
4 キャップを外します。



5 適正量給油します。タンクを軽く押え、油圧オイルが入りすぎないように注意しながら給油口いっぱいまで給油してください。

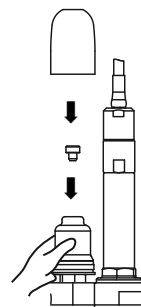
△ 注意

給油には、必ずエビ印純正の油圧オイルをご使用ください。純正品以外の使用は本機の性能に悪影響を及ぼすおそれがあります。



6 エア어가入らないようにタンクを軽く押えながらキャップをし、さらにオイルタンクキャップを取り付けます。

※油圧オイルを給油し、ジョーメンテナンスを行ってもスイッチレバー操作が数回必要な場合はエア어가混入しているおそれがあります。エア어抜き方法についてはお買い求めの販売店、又は当社コールセンターまでお問合せください。



4 油圧カプラの切り離し

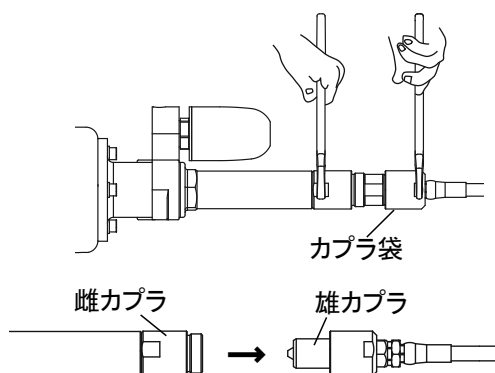
保守点検時や給油時に、ヘッド部とブースター部を切り離したほうが作業しやすい場合があります。このときは以下の手順に従って、油圧カプラを切り離してください。

分解

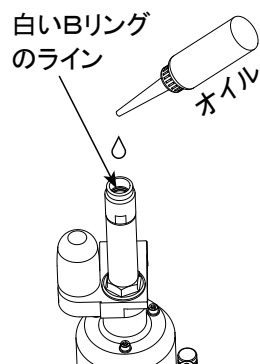
1 エアーの供給を停止します。

2 スパナ等でカプラ袋を外します。

3 雄カプラを引き抜きます。



4 ブースターを立てて置き、雄カプラ内のBリングラインまでオイルを注ぎます。

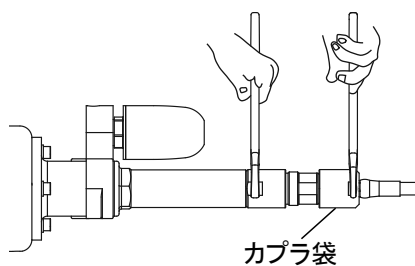


組立

5 雄カプラを押し込み、あふれたオイルを拭き取ります。



6 カプラ袋をスパナ等で締め付けます。



5

ノズルユニット部の掃除

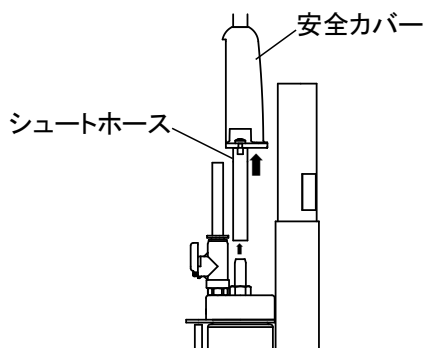
ノズルユニットにごみが溜まるとリベットのマンドレルの吸引力が低下します。マンドレルの吸引力が低下してきたときは、以下の点検を行ってください。

1

エアーの供給を停止します。

2

安全カバー、及びシュートホースを取り外します。

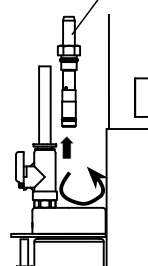


分解

3

スパナ等を使用して本体からノズルユニットを取り外します。

ノズルユニット



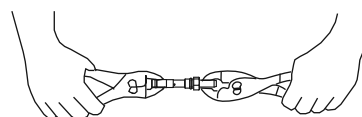
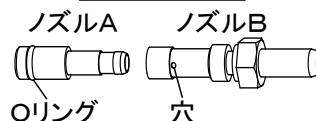
4

ノズルユニットAとBを分離します。

重要

少し固めにセットされていますので、プライヤ等を用いて分離してください。このときノズルAに付いているリングを傷つけないように注意してください。

ノズルユニット



掃除

5

ノズルA及びBの管の内部と、ノズルBの小さな穴を念入りに掃除します。

組立

6

分解の逆手順で組み立てます。

●保管の仕方

- 本機はほこりや湿気の少ない、風通しの良い、落下のおそれのない安定した場所で保管してください。
- 本機を長時間使用しないときは、「P.10 ～ P.14 保守点検のポイント」に記載した各部の掃除を行った後保管してください。
- 本機を長期間ご使用いただくために、定期的なオーバーホールを当社にご依頼ください。
(オーバーホールは有償です) オーバーホール及び修理はお買い上げの販売店、又は当社コールセンターまでお問い合わせください。

●部品の注文方法

以下のように機種名・部品名・コードNo. 数量を明記して、お買い上げの販売店又は当社コールセンターまでご注文ください。

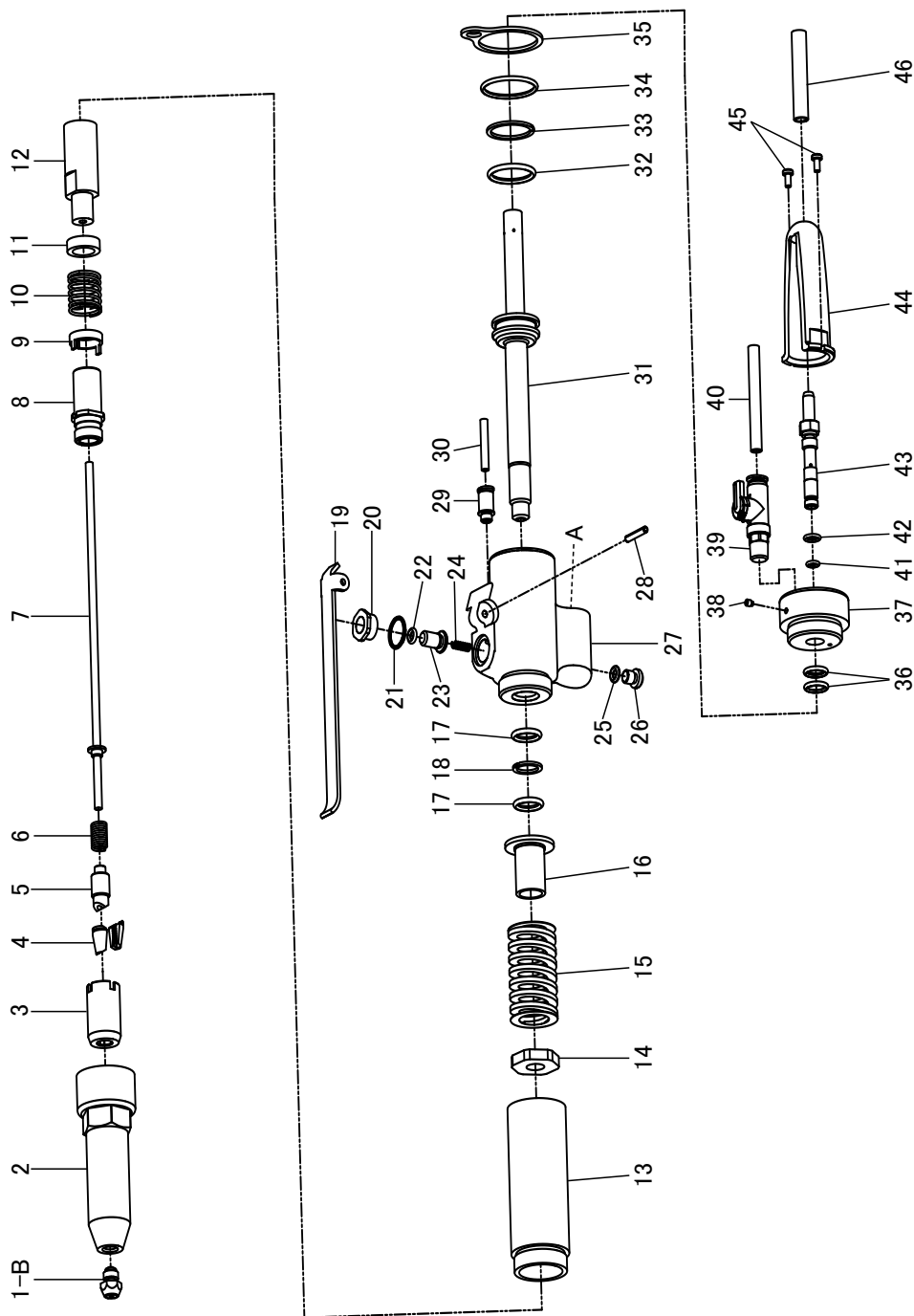
機種名	部品名	コードNo.	数量
ARV-025M	超硬質ジョー中	10281	1組
ARV-025M	フレームヘッド	10105	1個

※部品が改良された場合、旧製品の在庫は5年間となっておりますのでご了承ください。

●部品表

ヘッド部

ヘッド部は、次の部品により構成されています。



照合 No.	部品名	コード No.	材質	照合 No.	部品名	コード No.	材質
1-B	ノーズピース 3.2	10028	スチール	24	スプリング	22031	スチール
2	フレームヘッド	10105	スチール	25	Oリング P-5	12120	ゴム
3	ジョーケースヘッド	10280	スチール	26	油止めねじ	12135	スチール
4	ジョー (超硬質・中)	10281	スチール	27	※フレーム (U)	23733	①
5	ジョープッシャー	10132	スチール	28	スプリングピン 3 × 18	10145	スチール
6	ジョープッシャースプリング	10133	スチール	29	ストレートジョイント	14848	②
7	ガイドパイプ A(U)	24366	黄銅	30	エアーチューブ φ 4 × 2.6 m	23672	プラスチック
8	ジョーケース	10279	スチール	31	オイルピストン	23731	スチール
9	回り止めリング	10286	スチール	32	ウレタンOリング P-22	25443	ゴム
10	回り止めスプリング	10287	スチール	33	Bリング P-22	10181	プラスチック
11	ジョーケーススペーサー B	23750	アルミ	34	Oリング S-28	10221	ゴム
12	ジョーケーススペーサー A	23752	スチール	35	ハンガー	10106	スチール
13	ハンドグリップ	23744	アルミ	36	Oリング P-10	10274	ゴム
14	ジョーケースロックナット	23748	スチール	37	フレームキャップ	24364	アルミ
15	リターニングスプリング	23747	スチール	38	六角穴付止めねじ M3 × 4	17101	スチール
16	あたり	23745	スチール	39	エアーコック (ボールバルブ)	24365	③
17	Oリング P-12	10128	ゴム	40	エアーチューブ φ 6 × 2.6 m	24368	プラスチック
18	Bリング P-12	10129	プラスチック	41	Oリング S-5	10276	ゴム
19	スイッチレバー	23742	スチール	42	Oリング S-6	10220	ゴム
20	スイッチ止め	23741	黄銅	43	※ノズルユニット	14324	④
21	Oリング S-10	10151	ゴム	44	安全カバー	25463	アルミ
22	Oリング P-4	10454	ゴム	45	+(プラス) なべ小ねじ M3 × 8	20860	スチール
23	スイッチ	23740	プラスチック	46	シュートホース	10381	プラスチック

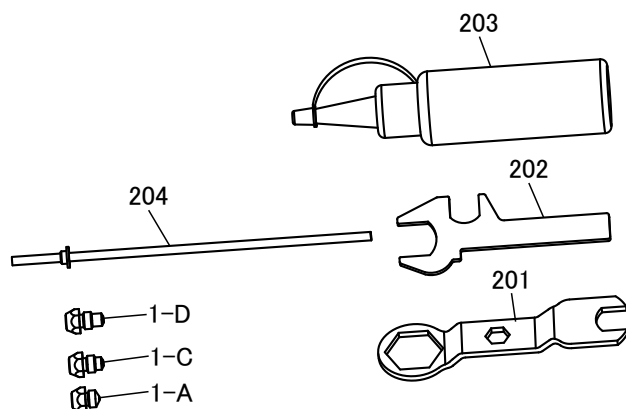
- ①アルミ・ゴム・プラスチック ②黄銅・ゴム・プラスチック
 ③黄銅・ゴム・ステンレス・プラスチック ④黄銅・ゴム
 ⑤黄銅・ステンレス

※ No.27 には No.17(2 個)、No.18(1 個) が組み込まれています。

※ No.43 には No.41(1 個)、No.42(1 個) が組み込まれています。

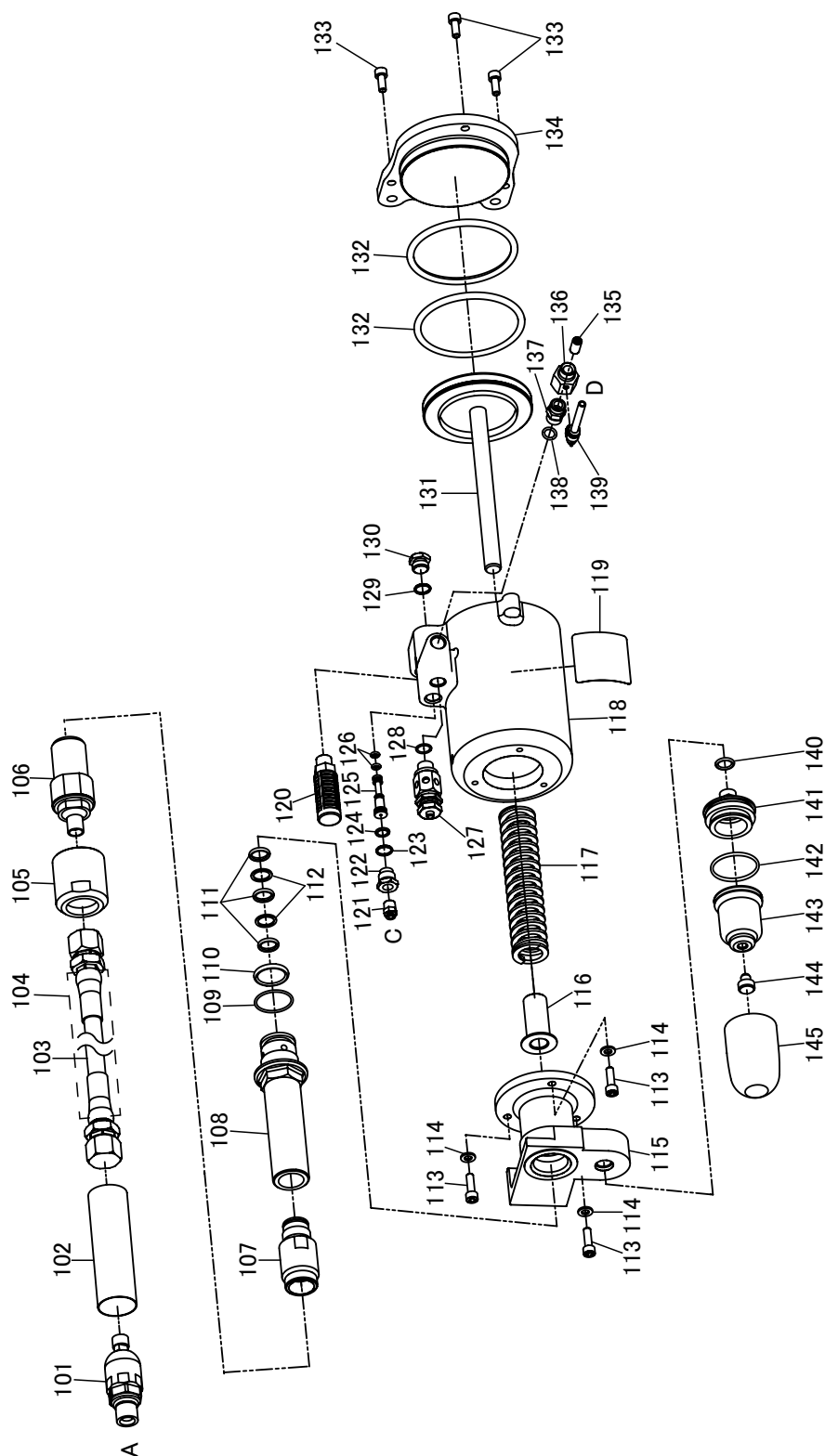
付属部品

照合 No.	部品名	コード No.	材質
1-A	ノーズピース 2.4	10027	スチール
1-C	ノーズピース 4.0	10029	スチール
1-D	ノーズピース 4.8	10030	スチール
201	スパナ A	10141	スチール
202	スパナ B	10142	スチール
203	油圧オイル	10012	---
204	ガイドパイプ B (U)	24367	⑤



スィベル部・ブースター部

スィベル部・ブースター部は、次の部品により構成されています。



照合 No.	部品名	コード No.	材質	照合 No.	部品名	コード No.	材質
101	首振り継手ユニット	23656	⑥	126	Oリング P-5	12120	ゴム
102	マジックチューブ	28490	ビニール	127	※安全弁 (U)	25467	④
103	油圧ホース	23644	①	128	Oリング S-11	25590	ゴム
104	保護チューブ	23668	プラスチック	129	Oリング S-12	23709	ゴム
105	カプラー袋	23652	スチール	130	スプールキャップ A	23688	黄銅
106	オンカプラー (ユニット)	23645	⑥	131	※エアーストロン (U)	67919	②
107	メスカプラー (ユニット)	23710	⑥	132	Oリング P-85	10452	ゴム
108	※オイルシリンダー (U)	23682	②	133	六角穴付ボルト M6 × 15	23690	スチール
109	Oリング S-30	23685	ゴム	134	エアースリンダーキャップ	23678	アルミ
110	Oリング P-24	10207	ゴム	135	固定ねじ	22030	ステンレス
111	Oリング P-14	10434	ゴム	136	分岐プラグ	22029	スチール
112	Bリング P-14	10435	プラスチック	137	ニップル	14484	黄銅
113	六角穴付ボルト M6 × 20	25593	スチール	138	Oリング P-9	10219	ゴム
114	平座金 (M6)	24426	スチール	139	L型ジョイント	22034	⑤
115	オイルシリンダージョイント	23700	アルミ	140	Oリング P-12	10128	ゴム
116	ブースタースプリングカラー	67916	プラスチック	141	オイルタンクベース	23693	アルミ
117	リターニングスプリング	23691	スチール	142	Oリング G-30	12445	ゴム
118	エアースリンダー	23706	アルミ	143	オイルタンク	15644	ゴム
119	警告ラベル	61075	⑦	144	キャップ	15819	プラスチック
120	サイレンサー	23689	プラスチック	145	オイルタンクキャップ	15606	アルミ
121	ストレートジョイント	10273	③	---	---	---	---
122	スプールキャップ B	23708	黄銅	---	---	---	---
123	Oリング S-12	23709	ゴム	---	---	---	---
124	Oリング P-8	10336	ゴム	---	---	---	---
125	スプール	23707	黄銅	---	---	---	---

①スチール・プラスチック ②アルミ・ゴム・プラスチック ③黄銅・ゴム・ステンレス・プラスチック

④黄銅・ゴム・ステンレス ⑤黄銅・ゴム・プラスチック ⑥ゴム・スチール・プラスチック

⑦紙・プラスチック

※ No.108 には No.109(1 個)・No.110(1 個)・No.111(3 個)・No.112(2 個) が組み込まれています。

※ No.127 には No.128(1 個) が組み込まれています。

※ No.131 には No.132(1 個) が組み込まれています。

●故障かな？と思ったら

故障とお考えの前に以下の項目の確認を行ってください。全て確認しても当てはまらない場合は当社にお問い合わせ、又は修理を依頼してください。

お問い合わせ、修理依頼の際は以下の項目を確認いただき、使用機種名・使用状況・症状等をできるだけ詳しく連絡していただきますと、修理期間を短縮することになりますのでよろしくお願いいたします。

症 状	原 因	処 置
リベットが入らない。 又は、リベッティング 後マンドレルが抜けな い。	1 ノーズピースの使用誤り。	リベットサイズに合ったノーズピースに交換してください。(P.7)
	2 ノーズピース・フレームヘッドの緩み。	完全に締め付けてください。
	3 ジョーとジョーケースヘッドとの接触面の不円滑（かみつき）。	ジョーケースヘッドのテーパー部の掃除をして、ジョー背部に潤滑油を塗布してください。(P.10)
	4 ガイドパイプのサイズ間違い又は取り付け忘れ。	リベットサイズに合ったガイドパイプを取り付けてください。
一度のスイッチレバー 操作でかしめが完了 しない。	1 リベットのサイズが板厚に適していない。	適正なりベットをご使用ください。
	2 コンプレッサーの空気圧が不適當。	空気圧を調整してください。(P.8)
	3 ジョーが磨耗している。	ジョーを交換してください。(P.10)
	4 ジョーケースヘッドの取り付け不良。	ジョーケースヘッドを、いっぱいまで締めて次に左に戻し最初に合った「切り欠け」のところで回り止めリングを入れてください。(P.11)
	5 油圧オイルの不足によるピストンストロークの減少。	油圧オイルを補充してください。 (オイルピストンストローク 19mm) (P.12)
ピストンが作動しな かったり、戻りが遅い 等、作業に異常が見 られるとき。	1 スプールの作動不良。	スプールを掃除してください。(P.11)
	2 サイレンサーの目詰まりによるスプールの作動不良。	サイレンサーを交換してください。
	3 シリンダー内の汚れや油分切れによるエアピストンの作動不良。	お買い求めの販売店、又は当社コールセンターまでお問合せください。
リベットの吸引力が弱 い又はマンドレルが排 出されない。	1 シュートホース内にマンドレルが詰まっている。	シュートホースを取り外し、中のマンドレルを捨ててください。
	2 リベッターのガイドパイプにマンドレルが詰まっている。	ガイドパイプを取り出しマンドレルを取り除いてください。
	3 ノズルユニットが汚れている。	ノズルユニットを掃除してください。 (P.14)
	4 シュートホース内にマンドレルが詰まっている。	シュートホースを取り外し、中のマンドレルを取り除いてください。
	5 シュートホースが長すぎる。(当社指定のシュートホースでない)	当社指定のシュートホースをご使用ください。
	6 シュートホースの末端に障害物がある。	シュートホースの末端が障害物でふさがれないようスペースを取ってください。(P.7)
	7 空気圧が低い。	空気圧を調整してください。(P.8)
	8 バキューム用エアークックの開きが不十分。	エアークックを「開」方向(反時計方向)に停止する位置まで回してください。(P.9)

下記の内容に訂正・変更がありましたのでお知らせいたします。

- ・ ARV025Mフレームヘッド内部にOリングP-10を追加いたしました。

	誤	正
P.5		
P.9	4 バキューム用エアーコックを時計方向に回し、バキューム装置を起動します。バキューム装置がON状態になり、エアー音がします。	4 バキューム用エアーコックを反時計方向に回しバキューム装置を起動します。バキューム装置がON状態になり、エアー音がします。
P.10	 	
P.11	グを には 「切り欠け」 を合わせる 潤滑油を塗る 回り止めリングを 下げておく	グを には 「切り欠け」 を合わせる 潤滑油を塗る 回り止めリングを 下げておく
P.16		